

# みんなの 健・康・と・法・律



福岡大学医学部精神科 講師 小林 隆 児

## 子どもの心の発達(第4回)

### 心の発達をみる鍵

その2

新生児期から乳児期を経て、

一歳の誕生を迎える頃になると赤ちゃんでも大きく成長し、様々な能力が芽生えてきます。それは模倣の出現、歩行開始、こたばの誕生などです。乳児期に母子の心理的共生関係がしっかりと育つてくると、子供は母の様々な仕草に驚くほど敏感に反応していきます。にんぎにんぎやおつむてんなどをやらせるのがこの時期です。第三者にはとてもできないような母子だけの非常に親密な関係が発展していきますが、このような母に対する子供の反応を心理的感应現象と呼んでいます。つい母の雰囲気の子供が誘いこまれてしまうのです。このような母子関係の深まりの中で母親としての喜びが高まってきます。こうした関係が基盤になって子供は母を通して周囲の世界を認知していく



わけです。外からの刺激をどのような意味あるものとして受け取るかはほとんど母の存在にかかっています。母がその意味づけを行って子供に投げ返します。さらに歩けるようになることが子供の世界を飛躍的に拡大させてくれます。探索行動がさかんになっていきます。活動範囲が広がっていくにつれ、親の心配は強まっていますが、次第に子供は乳児期のような母に依存するだけの関係から次第に自我が芽生え、親から離れていくようになっていきます。

先に述べたような母子の交流を通して子供が体験したことがイメージとしてどんどん心の中に蓄積されることによって、心の中のイメージはふくらみ、ことばの発達の基礎を形成していきます。ことばが豊かになっていくためにはこうしたイメージが不可欠で、もしそれが乏しいとことばの発達はうまく広がってくれません。次回からことばの発達とその障害について述べてみたいと思います。

## 乳幼児期の歯の磨き方 おとなしく歯を 磨かせるには……

満一歳のお誕生日が近くなる

と前歯が8本生え揃います。この頃には離乳食もかなり進み、それに伴い歯の汚れも目だってきますので、そろそろ歯磨きも始めなければなりません。しかし、この時期おとなしく歯磨き

をさせる子供はあまりいないでしょう。手足をばたつかせたり、歯ブラシを手で払いのけたり、なかなか協力してくれません。そこで、お母さん方から「どうしても、磨かせてくれないのですがどんなふうになれば良いでしょうか。」と言う質問を良くうけます。そういう場合は、お母さんが絵のようにお子さんの頭をお母さんの股の間に挟み込み、更にお母さんの足でお子さんの手を押さえながら磨いてみて下さい。一見可哀相なようですが、一番安全な方法です。こうするとお母さん一人でも磨いてあげることが出来ます。またこの時



福岡歯科大学 小児歯科学教室 助手 石井 香

優しく話しかける事も大切で、慣れてきておとなしく磨かせるようになってからお母さんの膝の上に仰向きに寝かせて磨いてやって下さい。歯ブラシはペンを持つように握り、もう片方の手で唇をめくり口の中がよく見えるようにして、歯ブラシの毛先を歯と歯肉の境目の所に当て小さく振動させながら磨くと歯垢もきれいにとれます。歯ブラシは毛足が短く、先が丸めてある物

でやや小さめの物が使い易く、歯肉を傷めないようです。まだこの時期はブクブクうがいがないので歯磨き剤はつけない方がよいでしょう。始めは嫌がっていた子供も歯磨きが習慣になって来ると嫌がらなくなります。ですから根気よく続ける事が大切です。歯磨きは、少なくとも一日に一回以上、特に寝る前は丁寧に磨いて下さい。



## 健康コラム

### アトピー性皮膚炎

とにかくかゆい皮膚病です。

**Q** 4歳の男の子。夜ベツトに入ってから体をボリボリかきむしります。皮膚炎だとしたらどんな治療が必要でしょうか。

**A** 子どもの皮膚炎の中でいちばん多いのがアトピー性皮膚炎です。この病気の特徴はなんといってもかゆいこと、それと子どもの年齢によって、見た目が変わってくることです。ひどくなると全身のあちこちに、貨幣大で円形の赤い湿疹や、小さな赤いブツブツ、手足では、カサカサや関節部が赤くなったり、ただれたりします。

いちばん多い子どもの皮膚病なのですが、原因と完治する治療法はまだ見つかっていません。ただ大人になると一見よくなっている人が多いことは、思春期までに自然に軽くなる傾向があることを表わしています。また、外用薬や日常のスキンケアで症状を楽にすることはできますから、じっくりと腰をすえてこのトラブルとくり組むことが必要です。また、子どもの皮膚の症状を一定期間ごとに医師にみてもらうことも必要です。さらに、毎日の入浴、シャワーの励行、つめを短く切っておくことなど、スキンケアの基本を守り、皮膚を常に清潔に保つよう心がけましょう。